

平成 27 年度「立正大学研究推進・地域連携センター研究支援費」研究成果報告書

1. 種目 第 1 種

2. 研究課題名 複合的な不利や困難を抱えた人々のライフコースの理解と総合的な支援システムに関する研究－若年ダブル・マイノリティの生活課題に焦点をあてて－

3. 研究代表者

研究代表者名		所属部局名	職名
しんどう	こずえ	社会福祉学部	講師
新藤	こずえ		

4. 連携研究者

連携研究者名		所属部局名	職名
かねこ	じゅう	社会福祉学部	准教授
金子	充		
はまばた	よしかず	社会福祉学部	准教授
濱畑	芳和		
いわきり	だいち	法学部	准教授
岩切	大地		
まるやま	やすひろ	法学部	准教授
丸山	泰弘		

5. 研究実績の概要

当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、申請書に記載した「研究目的」、「研究計画・方法」に照らし、600字～800字で、できるだけ分かりやすく記述して下さい。

本研究は、複合的な不利を抱えているにもかかわらず、福祉や司法の中心的課題となっていない若年ダブル・マイノリティの実態および支援の事例を調査し、支援の実際と課題を把握することを目的とした。若年者に対する支援を手がける各種組織・機関・施設等への現地視察・ヒアリング調査を実施し、わが国において支援の枠組みを構築するための検討を行った。具体的には、次の手順で研究を進めた。まず、研究代表者および連携研究者のそれぞれの専門領域において若年ダブル・マイノリティ研究に重なるテーマを掲げた研究会を実施し、障害者福祉・児童福祉、貧困・公的扶助、刑事政策・薬物政策、要保護女性の憲法的権利、若年失業者の生活保障・権利擁護の観点から発表・検討を実施した。次に、研究会での議論をふまえて以下の施設・機関への視察およびヒアリング調査を行った。

- ① 函館市民生事業協会が運営する救護施設明和園、母子生活支援施設函館松陰母子ホームおよび函館高母子ホーム、母子家庭等就業・自立センター、無料職業紹介所では、低所得者に対する社会資源を開拓しながら支援を行っており、ソーシャルワークの本来の役割を見出すことができた。一方、函館少年刑務所では、特別調整の対象となる障害者を支える地域資源が不足していることから、出所前から出所後を見据えた福祉的支援のネットワーク化が検討課題であることが理解できた。
- ② 豊中市では、豊中市くらし支援課が中心となりながら、豊中市社会福祉協議会、一般社団法人キャリアブリッジと連携しながら、くらし再建パーソナルサポート事業および地域就労支援事業を実施しており、若年ダブル・マイノリティに対する支援としては、年齢層および抱えている課題に応じて、居場所づくり、軽作業の提供、就業前段階の支援、職場実習を実施しており、各機関がリスクキャッチについて自負をもちながら連携の仕組みを構築することの重要性が示唆された。

以上のことから、若年ダブル・マイノリティが福祉や司法の要支援・要保護の対象として顕在化した場合の対応・支援のあり方に加え、要支援・要保護としては明確に位置づけられていないものの、ハイリスクな状況にある若年者を早期の段階から公的機関および民間支援団体が連携して支援を行っているのかを把握することができた。こうした取組みを他の地域や機関でも実践するためには、実践の精緻化と一般化が重要であり、さらなる検討が必要であると考えられる。

## 6. 研究発表（平成 27 年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計（ 9 ）件    うち査読付論文 計（ 1 ）件

著者名	論文標題			
新藤 こずえほか	児童自立支援施設における小舎夫婦制支援の検討（1）－「家庭的」支援の実践に焦点をあてて－			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
立正社会福祉研究	無	17	2016	39～46

著者名	論文標題			
新藤 こずえほか	児童自立支援施設における小舎夫婦制支援の検討（2）－「家庭的」支援の課題に焦点をあてて－			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
立正社会福祉研究	無	17	2016	47～55

著者名	論文標題			
新藤 こずえ	エスニック・アイデンティティの形成と変容			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
調査と社会理論	無	35	2016	95～114

著者名	論文標題			
新藤 こずえ	都市サーミ協会とサーミ関連組織の特徴			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
調査と社会理論	無	34	2016	27～37

著者名	論文標題			
新藤 こずえ	児童養護施設における障害のある子どものライフコースに関する一考察			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
立正大学社会福祉研究所年報	無	18	2016	15～22

著者名	論文標題			
金子 充	社会福祉における「普遍主義」概念の諸問題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
人間の福祉	有	30	2016	55～65

著者名	論文標題			
金子 充	イギリスの社会扶助の再編 — 貧困の実態とユニバーサル・クレジットの展望			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
立正社会福祉研究	無	17	2016	21～28

著者名	論文標題			
金子 充	社会保障改革は貧困問題にこたえるのか			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
社会福祉研究（鉄道弘済会）	無	125	2016	96～100

著者名	論文標題			
丸山 泰弘ほか	米国シアトル市の刑事司法事情～Probation Officer及びMitigation Specialistが行う判決前調査を中心に～			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
司法福祉学研究	無	15	2015	94～106

〔学会発表〕計（ 3 ）件    うち招待講演 計（ 0 ）件

発表者名	発表標題		
Yasuhiro MARUYAMA	Partial Suspension of Imprisonment in Japan: Searching what lies behind welfare models		
学会等名	発表年月日	発表場所	
The 4th East Asian & Society Conference	6th August, 2015	Waseda University	

発表者名	発表標題		
Yasuhiro MARUYAMA	Criminalized Welfare: Problematic issues of Partial Suspension of Imprisonment		
学会等名	発表年月日	発表場所	
European Society of Criminology, 15th Annual Conference	4th September, 2015	Universidade Do Porto	

発表者名	発表標題		
丸山 泰弘	判決前調査と法曹三者以外の専門家		
学会等名	発表年月日	発表場所	
日本心理臨床学会第34回秋季大会	2015年9月20日	神戸国際会議場	

〔図書〕 計（ 3 ）件

著者名	出版社		
介護保険白書編集委員会編 （芝田英昭、矢部広明、桑本文幸、柴崎祐美、濱畑芳和、吉田満）	本の泉社		
書名	発行年	総ページ数	
介護保険白書 施行15年の検証と2025年への展望	2015	256	

著者名	出版社		
岩切 大地	尚学社		
書名	発行年	総ページ数	
「売春法制と性風俗法制の交錯—個室付浴場業規制の法的性質をめぐって」陶久利彦【編著】『性風俗と法秩序』（2016発刊予定）	2016	未刊行	

著者名	出版社		
丸山 泰弘【編著】	成文堂		
書名	発行年	総ページ数	
刑事司法と福祉をつなぐ～罪を犯した人の福祉的支援を考える～	2015	76	

研究補助を受けた方は、「研究成果報告書」を提出していただき、ホームページ等で研究成果を公開いたします。研究成果が公開できない事情がある場合には、その理由を記述して下さい。

※研究成果を公開できない理由

--